

平成 23 年度第 1 回羽島市都市計画審議会（会議要旨）

日時	平成 23 年 8 月 25 日（木）午後 2 時 20 分～午後 4 時 30 分
場所	羽島市役所本庁 4 階第 1 会議室
委員出席者	大野栄治委員、糸井川弘委員、高島保雄委員、大橋嘉明委員、花村聡委員、 味岡弘委員、大鐘康敬委員、奥田三郎委員、加藤英輔委員、安井善保委員、 安田孝司委員、小早川耕一委員
内容	<p>1．開会</p> <p>2．あいさつ</p> <p>3．配付資料の確認</p> <p>4．出席者の確認</p> <p>13 名中 12 名出席しており、羽島市都市計画審議会条例第 6 条第 1 項の規定により会議が成立する。</p> <p>5．会長の選出</p> <p>大野委員が会長に選出される。</p> <p>6．会長職務代理者の指名</p> <p>糸井川委員が会長職務代理者に指名される。</p> <p>7．議事録署名者の指名</p> <p>高島委員と安井委員が議事録署名者に指名される。</p> <p>8．審議会の公開について</p> <p>羽島市情報公開条例に基づき、本審議会の会議および会議録を公開とする。</p> <p>9．議題 1 羽島都市計画ごみ焼却場について（概要説明）</p> <p>議題 2 羽島市都市計画マスタープランについて</p> <p>10．その他</p> <p>今後の予定について説明した。</p> <p>11．閉会</p>
主な質疑応答	<p>報告事項</p> <p>「羽島都市計画ごみ焼却場について（概要説明）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元住環境への心配や地元の将来についての不安、選定結果について疑問があることから反対派の活動が活発化している。そのような状況で計画案を了承すると土地買収、建設段階、施設ができた時の運営面等において地元の協力が得られないのではないか。少なくとも都市計画審議会が開催される頃には、地元貢献策の具体的な話まで進んでいけばよかった。将来に禍根を残さないためにも、地元の合意が得られるような方策を考えなければならない。 ・ 環境影響評価の客観性は、どう保たれているか。 <ul style="list-style-type: none"> コンサル会社、日本気象協会にお願いして作成してきた。また、県の審議会を開いていただき、知事意見も 2 回いただいている。 ・ 市内で選ばれた 3 案について簡単に説明して欲しい。 <ul style="list-style-type: none"> 関係部課長により、一般廃棄物処理施設建設候補地検討委員会というものを設けて、評価項目に基づき 5 地域の中から総合点数の高い羽島市北部南

東地域、羽島市南部北東地域、羽島市南部中央地域の3地域を順位を付けずに組合に提案させていただいた。

- ・ 市内で選ばれた3案に順位をつけなかったのには理由があったのか。
総合評価の総点数がかなり拮抗しており、順位をつけなかった。
- ・ 資料1の6ページに月変動係数が示されており、上と下に2つ表があるが、これは何を意味しているのか。
上の表が月ごとの数字、下の表は1位から12位までの順位に置き換えたもの。その平均下から3番目をとっていることを表す。
- ・ 資料1の4ページの(2)にある土地利用区分のうち、その他とは何か。
図面の凡例で示した「その他」等であり、牛舎等が該当する。
- ・ 地元の方の合意に向けて、こういった取り組みをされるのか。
羽島市で約13回、組合で14回、区で2回の計29回の地元説明会等々を開催させていただいている。加えて、今年度からごみ処理施設建設推進室というプロジェクトを設置し、地権者あるいは区に対して建設推進の協力について、いろいろと交渉をさせていただいている。

「羽島市都市計画マスタープランについて」

- ・ 下水道は整備されているが、実際に接続して活用しているお宅は何軒ぐらいか、割合はどのぐらいか。
数字については後ほど報告させていただく。水洗化率が低いことが下水道収益がなかなか向上してしない要因の一つになっている。そのため、現在、最適な下水の処理方法の組み合わせを考えていこうということで、下水道の審議会で議論しようという話になっている。
- ・ 南部地域、北部地域の土地区画整理事業が進んでいない地域について、公園整備はどの程度の考えを持って検討するということなのか。
予算があれば今後公園はつくっていきたいと考えている。現在、借地公園の整備を行っているが、借地公園は無償で一定以上の面積などの要件があり、なかなか進んでいないのが現状である。
- ・ 議会に対して、勉強会等は開催する予定はあるのか。また、今回、案を示されたというのはどう捉えればいいのか。
今回の報告により完成という形にしていきたいと考えているため、案として報告させていただいた。もしこの場でご意見があれば承るが、変更は考えていない。また、議会との勉強会については、開催の予定はない。
- ・ 平方大浦線の南濃線より東側については、都市計画道路の線をはっきりいれておかなければ家が建ってしまうのではないか。
東側も都市計画道路としては都市計画決定している。

以上